

## 中間貯蔵施設用地の状況

## 概要

- 中間貯蔵施設区域は約1,600haであり、予定地内の登記記録人数は2,360人となっています。
- 地権者との信頼関係はもとより、中間貯蔵施設事業への理解が何よりも重要であると考えており、引き続き、地権者への丁寧な説明を尽くしながら取り組みます。

## 中間貯蔵施設用地の状況について

2025年9月末時点

- 用地取得については、9月末時点で契約者数1,911人、面積約1,314haについて契約しております。

## 中間貯蔵施設用地の状況について

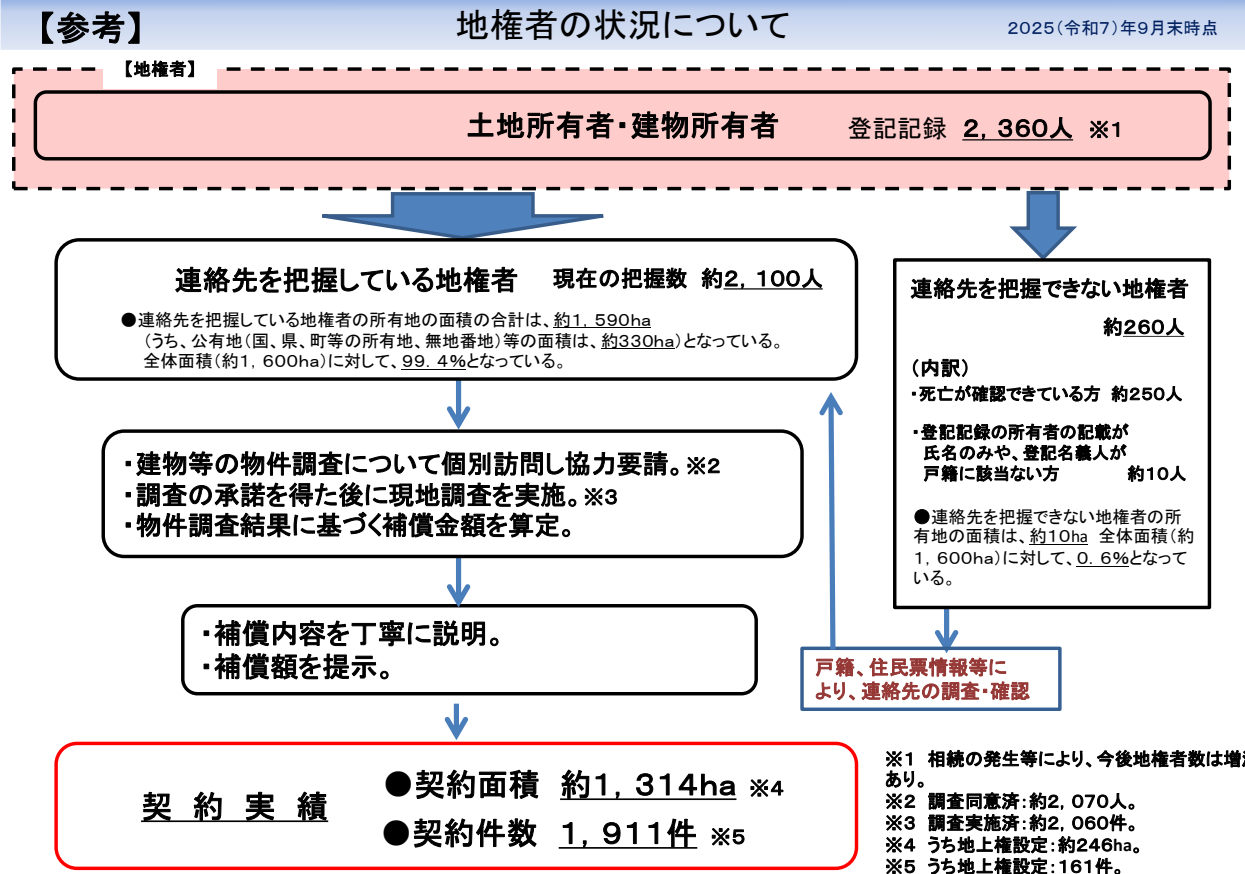
2025(令和7)年9月末時点

| 全体面積<br>約1,600ha          | 項目                                         | 全体面積に対する<br>面積と割合                  | 全体登記記録人数<br>(2,360人※1)に対する<br>人数と割合                          |
|---------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
|                           | 地権者連絡先把握済み                                 | 約1,590ha ※1<br>99.4%               | 約2,100人 ※1<br>89.0%                                          |
| 民有地<br>約1,270ha<br>(約79%) | 契約済<br>民有地<br>約1,219ha(±0.0ha)<br>96.0% ※3 | 計<br>約1,314ha<br>(±0.0ha)<br>82.1% | 契約済<br>計<br>1,911人<br>(±0人)<br>81.0% ※2                      |
| 公有地<br>約330ha<br>(約21%)   | 公有地<br>約95ha(±0.0ha)<br>28.7% ※4           | その他の公有地<br>約235ha<br>14.7%         | ＜参考＞<br>約1,549ha<br>(96.8%)<br>〔連絡先把握済みの2,100人に対する割合は、91.0%〕 |

次を含む。  
①道路・水路等のように今後も元々の機能を維持する町有地、県有地、国有地等  
②事業の進展を踏まえつつ、必要に応じて、中間貯蔵施設用地としての提供・契約を調整する町有地、県有地、国有地等

※1 国、地方公共団体を含む。  
※2 民有地1,909人、公有地2人。  
※3 民有地(約1,270ha)に対する割合。  
※4 公有地(約330ha)に対する割合。

(注)端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。また、契約済におけるカッコ内の数字は、前月末からの増加分を表す。



(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。